

科目名	小児看護方法Ⅱ(看護実践) Pediatric Nursing Ⅱ		担当教員 (研究室番号)	前田 貴彦 (206) 宮崎 つた子 (207) 上杉 佑也 (208)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	前田:takahiko.maeda@mcn.ac.jp 宮崎:tsutako.miyazaki@mcn.ac.jp 上杉:yuuuya/uesugi@mcn.ac.jp					
履修年次	3年次前期	科目区分	専門科目・生涯看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
科目目的	小児期の健康問題が子どもと家族に及ぼす影響や問題について、子どもの成長・発達段階の特徴を踏まえ、それらを解決するための看護方法を習得するとともに、小児期に罹患することが多い疾病を事例にあげ看護過程を展開し、子どもと家族が有する看護問題を解決するための能力を養う。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	G 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・理論的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけている。(思考・判断)										
	関連するDP	F 人々の健康的な生活支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する能力を見つけている。(技能・表現) H 人々の健康に関する課題の解決に向けて、安心・安全・安楽自立を基本とした看護を実践する技能を身につけている。(技能・表現)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 健康問題をもつ子どもと家族の身体的・精神的・社会的側面に及ぼす影響や問題を解決するための看護方法について、成長・発達段階に応じた方法を検討し、記述することができる。 子どもを対象とした看護過程の特徴について記述することができる。 事例に基づき看護計画の立案に必要な情報の分類およびアセスメントができ、それらを記述することができる。 事例に基づき子どもの成長・発達段階を踏まえた看護目標を設定し、記述することができる。 事例に基づき看護目標到達のための具体策を考え、記述することができる。 											
成績評価方法(基準)	試験(70%)、看護過程の成果(25%)、2回の事前学習内容(5%) 事前学習未提出およびグループワークを欠席した場合は減点対象とする。 看護過程に関する記録の未提出者は減点対象とする。											
再試験の有無と基準等	科目の合否結果で不合格となった者には、当該学生からの申請があれば再試験を実施する。再試験は筆記試験とし、それまでの課題や出席状況は再試験の評価に加味しない。											
教科書	ナーシング・グラフィカ 小児看護① 小児の発達と看護 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 小児看護③ 小児の疾患と看護 メディカ出版 発達段階を考えたアセスメントもにとづく小児看護過程 医歯薬出版株式会社											
参考書等	必要時提示する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	本科目は、3年次後期から始まる小児看護学実習に直結する内容であり、実習で受け持つことが多い疾患の事例を用いて各自で看護過程の展開を行う。看護過程の演習では事前学習とグループワークを取り入れているため、各自が主体的に取り組むことを期待する。											
備考	小児看護方法Ⅰを修得していないと履修できない。											
回	学習項目		学習内容					担当教員	授業方法			
1回	オリエンテーション 急性疾患をもつ子どもと家族の看護		本科目についてのオリエンテーションを行う。 急性疾患(呼吸器感染症や消化管感染症、血管炎など)が子どもと家族に及ぼす影響や問題について学ぶ。 急性疾患が子どもと家族に及ぼす影響や問題を解決するための看護方法について学ぶ。					前田	講義			
2回	難病をもつ子どもと家族の看護①		難病(急性リンパ性白血病)が子ども(学童期)と家族に及ぼす影響とその看護について、各自の事前学習をもとにしたグループ討議を通して学ぶ。					前田他	演習			
3回	難病をもつ子どもと家族の看護②		難病が子どもと家族に及ぼす影響や問題について学ぶ。 難病が患児と家族に及ぼす影響や問題を解決するための看護について学ぶ。					前田	講義			
4回	看護過程について①		小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・情報収集と情報の分類の仕方について理解する。					前田	講義			
5回	看護過程について②		小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・事例(感染症に罹患する幼児期の患児)から実際に情報分類を行う。 ・事例から実際に情報分類した内容の妥当性をグループ内で検討する。					前田他	演習			
6回	看護過程について③		小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・分類した情報のアセスメントについて理解する。					前田	講義			
7回	看護過程について④		小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・事例から情報分類した内容を実際にアセスメントする。					前田他	演習			
8回	看護過程について⑤		小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・アセスメントの結果から看護問題を抽出する方法について理解する。 ・アセスメントした結果を検討し、看護問題を抽出する。					前田	講義			
9回	看護過程について⑥		小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・抽出した看護問題をグループ間で検討する。					前田他	演習			
10回	看護過程について⑦		小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・看護目標(期待される結果)および目標を到達するための具体策について理解する。					前田	講義			

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
11回	看護過程について⑧	小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・抽出した看護問題に対し、成長・発達段階を踏まえた看護目標（期待される結果）を導く。	前田他	演習
12回	看護過程について⑨	小児の看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・抽出した看護問題に対する看護目標（期待される結果）を到達するための具体策を考える。	前田	講義
13回	看護過程について⑩	看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 教員からの指導をもとに立案した看護計画について検討・修正を行う。	前田他	演習
14回	小児の援助方法	小児の援助方法について学ぶ。 ・子どもの基本的な生活習慣や日常生活行動、社会的な生活習慣の援助について学ぶ。集団生活での遊びの援助について学ぶ。 ・子どもの健康診査や健康問題に対する援助について学ぶ。 ・子どもの集団生活での基本的・社会的な生活習慣、遊びの具体的な援助を検討する。子どもの健康診査や健康問題に対する援助の技術について学ぶ。	宮崎	講義
15回	看護過程について⑪	看護過程を展開する具体的な方法について学ぶ。 ・看護計画に沿った看護の実践と評価について理解する。	前田	講義

学 習 課 題

※2.3回の事前課題

2回急性リンパ性白血病が子どもと家族の身体・精神・社会的側面に及ぼす影響や問題について各自で考え、所定の用紙にまとめる。
また、それらの影響や問題を軽減・解決するために必要な看護について各自で考え、所定の用紙にまとめる。
各自がまとめた事前学習の内容は2回目の授業でのグループワークで活用するとともに、評価の対象となる。

※看護過程に関する事前課題

看護過程を展開するための事例で扱う疾患の病態生理、治療、検査、看護について各自学習する。

※看護過程に関する事後課題

事例で展開した看護過程を所定の日時までに提出する。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員、看護職として小児看護等の臨床経験を有する。担当教員は看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。